



平成 29 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ ー ク ネ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 崎 清 孝
(コード番号：3964 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員
コーポレート部門統括 GM 田 島 伸 和
(TEL. 03-6440-2552)

平成 29 年 12 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社オークネット(以下、「当社」という)は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月 29 日に公表した平成 29 年 12 月期(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成 29 年 12 月期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,346	百万円 4,044	百万円 4,114	百万円 2,309	円 銭 87.52
今回修正数値(B)	19,437	3,137	3,152	1,680	63.68
増減額(B-A)	△1,909	△907	△961	△628	
増減率(%)	△8.9	△22.4	△23.4	△27.2	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	19,983	4,041	4,115	2,183	90.77

2. 業績予想修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、四輪事業は前回予想を概ね達成する水準で堅調に推移し、その他情報流通事業も、ブランド品での取扱高の増加や中古バイクでのコスト削減策の奏功等により、堅調に推移しておりますが、デジタルプロダクツ事業は、前回予想と比較し中古スマートフォンの当社の取扱量、取扱手数料が減少したことの影響を受け、全社としては前回予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を下回る見込みです。

セグメントの業績予想は、以下のとおりです。

(1) 四輪事業：売上高は 11,449 百万円(前回予想比 2.1%増、前期比 5.4%増)、営業利益は 3,404

百万円(前回予想比 1.7%減、前期比 6.9%増)となる見込みであり、堅調に推移しております。

(2) デジタルプロダクツ事業：様々な外部環境の変化により中古スマートフォンの当社の取扱量、取扱手数料が減少したことの影響を受け、売上高は 4,124 百万円(前回予想比 31.9%減、前期比 24.8%減)、営業利益は 1,990 百万円(前回予想比 40.3%減、前期比 34.2%減)となる見込みであります。

(3) その他情報流通事業：ブランド品での取扱高の増加や中古バイクでのコスト削減策の奏功等により、売上高は 2,611 百万円(前回予想比 2.8%減、前期比 2.2%増)、営業利益は 767 百万円(前回予想比 22.2%増、前期比 22.7%増)となる見込みであり、前回予想を概ね達成できる水準で堅調に推移しております。

(4) その他事業：売上高は 1,934 百万円(前回予想比 8.7%減、前期比 0.1%増)、営業損失は 158 百万円(前回予想は営業損失 120 百万円、前期は営業損失 19 百万円)となる見込みであります。

今回の業績予想修正において大幅に下方修正しているデジタルプロダクツ事業は、(株)オークネットデジタルプロダクツが運営する、中古スマートフォン及び中古 PC 等の中古デジタル機器のオークションで構成されております。オークションは国内のみならず海外向けにも積極的に行っており、会員ネットワークは信用調査のうえ厳選された業者のみで構成されております。(株)オークネットデジタルプロダクツでは、出品者からの受入から落札者への出荷まで、流通に関する全ての手続きを一連のソリューションとして提供しており、そのなかでも、商品を取り扱うにあたって欠かすことのできない端末のデータ消去・検査には徹底して取り組んでおり、安心かつ安全な流通を提供しております。

今回の業績予想修正は、デジタルプロダクツ事業のなかでも、主に中古スマートフォンのオークションに起因しておりますので、当該オークションの状況について、記載いたします。

中古スマートフォンのオークションにおける手数料収入は、主に落札手数料及びオークションに出品する際のデータ消去や検品に係る作業収入で構成されております。この手数料収入が前回予想時の想定を大幅に下回ったことが今回の修正に至った経緯であります。

なお、具体的な差異原因につきましては、

(1) 新型 iPhone の発売に合わせ、第 4 四半期を最需要期と想定しておりました。しかしながら、例年とは異なる iPhone 8、iPhone X という段階的な発売方法及び、発売開始直後の新型 iPhone の在庫不足等の影響により、第 4 四半期に想定していた中古スマートフォンの当社の取扱量が当初の想定を大幅に下回ったこと

(2) 中古スマートフォン市場に米国から大量に端末が供給された影響により、11 月の市場相場が大きく下落したことで、取扱手数料が想定を下回ったこと
等が挙げられます。

これらの前提を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成 29 年 3 月 29 日に公表しました業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、平成 29 年 12 月期の期末配当金予想につきましては、1 株当たり 13 円 00 銭の従来予想から変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

※平成 29 年 12 月期決算短信は平成 30 年 2 月 13 日に開示予定であります。

以 上